

図書館の2Fロビー、エスカレーターの乗り換えフロアー、併設するガラス美術館の展示室出口にも位置す。本来の目的での来場者多数、演奏に驚き立ち止まる、そのまま通り過ぎる人も、ザワザワとした雰囲気。演奏者にとってアウエー、どうすれば聴衆を味方にできるか。

モーツアルトの「ピアノソナタ15番」、ワクワク躍動、心から楽しむウィーン風の薬味。無機質颯爽の軽やかさ希薄、天使ピコピコのモーツアルトーンの姿なし。2楽章、肉声に接近、真摯な喜怒哀楽、意外性。シューベルトの「即興曲 Op.90-4」、満天の星、輝き光のインパクト、今日は夏の暗騒音。中間部のロマンチック・パッセージ、ダイナミックな感情のウネリ、強い情感がオン。想定外の豊かな表現、即興曲イコール聴きやすさ、穏やかBGM的アプローチに止まらず。「楽興の時」、聴き慣れた可愛い旋律、ざわめきの中埋没気味。

ドビュッシーの「夢」、幻想的や柔らかさと掴み処ない漠然とした輪郭、2度目だから手探りの模索不安はなし、半ばの確信をもって模糊たるまどろみに従う。「花火」、疎らな打ち上げからの高揚、テンションアップ、息を詰め見守る呼び物目玉、ワクワクドキドキ。そして大爆発のフィナーレ、自由奔放な広がりジャンプアップ、作曲家キャラ。目まぐるしい場面展開、そこでの立ち止まり俯瞰、斜めに構えてのシニカル眼差しプラス、勝手な期待。

パイプ椅子の観客席の最前列の中央、オタクぽい青年、スマホで演奏家を撮影、ピアノそっちのけ、2曲目途中で退出。他方、乳児抱っこの若いお母さん、当初は愛想を振りまき、周りもニコニコ、時間の経過でコンセントレーションの切れ、むずかり周囲の促しにて止むを得ず退去。種々のアクシデント、盆と正月が一緒、演奏家も大変。アンコールの「クシコスポスト」、ノリノリモードにて丸く収まる。(2016.5.8)

モーツアルト：ピアノソナタ 15番 ハ長調 K.545

シューベルト：楽興の時 ヘ短調 Op.94-3

シューベルト：即興曲 4番 変イ長調 Op.90-4

ドビュッシー：夢

ドビュッシー：前奏曲集 第2巻 から「花火」

ショパン：ポロネーズ 6番 変イ長調 Op.53「英雄」

(アンコール)

ショパン：ノクターン 20番 嬰ハ短調 Op.posth

ランゲ：花の歌 Op.39

ネッケ：クシコス・ポスト

